

令和5年度 第2回医療系フォーラム実験小委員会 議事概要

- I. 日時： 令和5年8月3日（木） 16:00～18:00
II. 場所： 公益社団法人 私立大学情報教育協会
II. 出席者： 片岡主査、神原委員、廣井委員、原島委員、山元委員、小原委員、中山委員、
二瓶委員、井端事務局長、森下主幹

III. 資料

- ① 次第
- ② 委員名簿
- ③ 各専門領域を超えた分野横断型遠隔授業の実践（ビデオ制作検討資料）
- ④ 令和3年（2021年）事業報告 分野横断フォーラム型授業の試行研究
- ⑤ 令和4年（2022年）事業報告 分野横断フォーラム型授業の試行研究
- ⑥ 第1回委員会議事概要

IV. 議事概要

1. 各専門領域を超えた分野横断型遠隔授業の実践（ビデオ制作）について

(1) 「タイトル」、「ビデオコンテンツの内容」、「イメージ」

資料③を用いて以下の「タイトル」、「ビデオコンテンツの内容」、「イメージ」について説明が行われた。

・タイトル

各専門領域を超えた分野横断型遠隔授業の実践 -持続可能な医療・健康生活を考える-

・内容

- ① 分野横断型遠隔授業の目標
- ② 参加学生と分野横断型遠隔授業の概要
- ③ 分野横断型遠隔授業のプラットフォーム
- ④ ICT学修支援システムについて
- ⑤ 分野横断型遠隔授業の概要
- ⑥ 分野横断型遠隔授業を実施してわかったこと
 - ・学生アンケート結果
 - ・テキストマイニングを用いた学修レポート（個人）の解析結果
 - ・分野横断型遠隔授業の概要（ポイント）
- ⑦ ICTを用いた分野横断型授業の成果
- ⑧ 参加教員の意見

(2) 主な意見

- ・ 6年間の研究と実験で大学の教育を超えた新しい学びができることが確認されたので、多職種連携教育に活用できるノウハウとして紹介したい。
- ・ アイスブレイキングのやり方、学生ガイド、ポートフォリオやワーキングシートなどのノウハウも紹介してはどうか。
- ・ 問題設定、課題解決、事前に自ら学ぶ自己学修、自分たちで設定して自己主導学修する仕組み、ネット上で問題を出し合い関連付ける学修をどうやらせるか、そのためのマッピングづくりなどのノウハウが大事である。
- ・ ネットで議論させ、問題を整理して課題設定できるようにすることが大事になる。
- ・ グループの編成は2021年度、2022年度それぞれのやり方、メリット・デメリットを明示し、それぞれの大学で考えていただくようにしてはどうか。
- ・ ファシリテータの役割には苦勞したので、励まし、脱落しないよう支援する仕組み紹介することが大事である。
- ・ 最後の発表会でお互いレビューしたやり方、学生の反応なども紹介してはどうか。また、学生一人一が掲げた目標に対してどうだったのか、ポートフォリオや振り返りシステムなども紹介してはどうか。

(3) ビデオの制作について

- ・ 資料③の「タイトル」、「ビデオコンテンツの内容」、「イメージ」で各パーツ（部分）ごとに資料に言葉で説明を加えては制作する。
- ・ 各パーツ（部分）それぞれ10分程度で全体を50分程度でまとめる。
- ・ アイスブレイク、学生ガイド、ポートフォリオのパーツ（部分）は、それぞれタイトル入れて紹介する。
- ・ こういう所から入ってこのように工夫すれば良いんだなと思ってもらえることをねらう。
- ・ 二瓶先生に協力いただき制作したビデオをYOUTUBEで私情協のホームページで公開することを考える。
- ・ ビデオは委員会の委員が制作し、費用は謝金程度で考える。

(4) 役割分担について

① 以下のように役割分担した。

医療系大学の多職種連携教育を支援するビデオ
作成の進め方について（修正版）

2023/8/8

第2回医療系フォーラム実験小委員会

1. 委員の各先生に以下の分担で各パーツをまとめていただき、これをもとに10月にビデオ化し公開する。		
2. 委員の各先生は、担当部分のイメージをPPTでとりまとめ「9月16日」迄に事務局（森下）にお送りいただく。		
3. 事務局は、到着次第、各委員のPPTを片岡先生にお送りし、片岡先生に全体を整理していただく。		
4. 片岡先生に全体整理いただいた内容をもとに9/26の会議で修正や追加を検討し、PPT資料の完成と音声説明部分の検討を行う。		
5. 9/26の委員会で完成したPPT資料に説明音声を入れて10月にはビデオ化する。		
各パーツPPTの取り纏め分担表		
担当いただく部分（パーツ）	担当委員	備考
1. 導入部分	片岡先生	* 多職種連携教育の有効な事例として研究・実験のノウハウを提供する。
2. 分野横断型学修のプラットフォーム	二瓶先生	
3. ICT学修システム	二瓶先生	
4. 学生ガイド	片岡先生	
5. 分野横断型学修の概要（全体）	片岡先生	
6. アイスブレイキング（お互いの専門性の理解）	小原先生	
7. プロブレムマップと課題設定	片岡先生	
8. 分野混成グループによる多職種連携教育の実践例と考察	片岡先生	
9. ファシリテーションの工夫		
・ ファシリテーションとは（概論）	廣井先生	* 概論を廣井先生にお願いし、苦労したこと、良かったこと、ファシリテーションのポイント等を4名の先生がメールで情報共有して取りまとめる。
・ ファシリテーションで苦労したこと	原島先生	
・ ファシリテーションで良かったこと	中山先生	
・ ファシリテーションのポイント	小原先生	
10. ポートフォリオ	片岡先生	
11. 資料の提供と学修を深める工夫	神原先生	
	山元先生	
12. 感想とご意見	委員全員	※ 全員の先生に PPT1枚程度（箇条書）で作成いただく

- ② 委員の各先生は、担当部分のイメージをPPTでとりまとめ「9月16日」迄に事務局（森下）にお送りいただく。
- ③ 事務局は、到着次第、各委員のPPTを片岡先生にお送りし、片岡先生に全体を整理していただく。
- ④ 片岡先生に全体整理いただいた内容をもとに次回委員会（9/26）で修正や追加を検討し、PPT資料の完成と音声説明部分の検討を行う。
- ⑤ 9/26の委員会で完成したPPT資料に説明音声を入れて10月にはビデオ化する。

2. 次回の委員会

9月26（火）18:00～20:00 オンライン開催